

感染症ミニレター

～日本もようやく低蔓延国入りしましたが、まだまだ要注意です～

編集/発行 令和7年12月12日
兵庫県伊丹健康福祉事務所
(保健所) 健康管理課

TEL 072-785-2371
FAX 072-777-4091

平素より、感染症対策の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

医療機関等における感染対策のさらなる充実に向け、結核に関する情報等をお届けします。

★結核患者をどのようにして発見するか

POINT

- ◊結核低まん延国となったが、欧米と比べると高い罹患率のわが国では、常に結核を念頭においた日常臨床を行うべきである。
- ◊咳の患者にはサージカルマスクの着用を勧め、優先的に診療する。
- ◊長引く咳や胸部異常陰影を認める場合は、喀痰の抗酸菌塗抹培養検査を3回連続して行う。

医療者のための結核の知識 第5版

編集 四元秀毅 執筆 山岸文雄 永井英明 長谷川直樹, 医学書院, P128 より引用

★3連痰ってなぜ大事なの？→下記の事例を読んで確認してみましょう！

★3連痰の重要性を再確認できた事例紹介★

患者：A氏。60歳代男性。持病の健診で定期的に通院し、胸部X線検査を受けている。

X月Y日 定期受診時に胸部X線検査を受けたところ、前回の画像と比較すると右上の肺野に変化あり。

→急遽CT検査も撮影することになり、粒状影を確認。

X月Y+2日 Y+3日 Y+4日

3連痰実施し、塗抹陰性
→培養検査も同時にオーダー

X月Y+44日 Y+3日に採取した喀痰のみ、
6週培養陽性！

他の日の喀痰では培養陰性。

→慌てて同定検査(PCR)をオーダー
→TB-PCR陽性判明！肺結核と診断！



この時点での
3連痰
培養検査
核酸増幅法

この時点で、左記3セットのオーダーをするとより良いですね



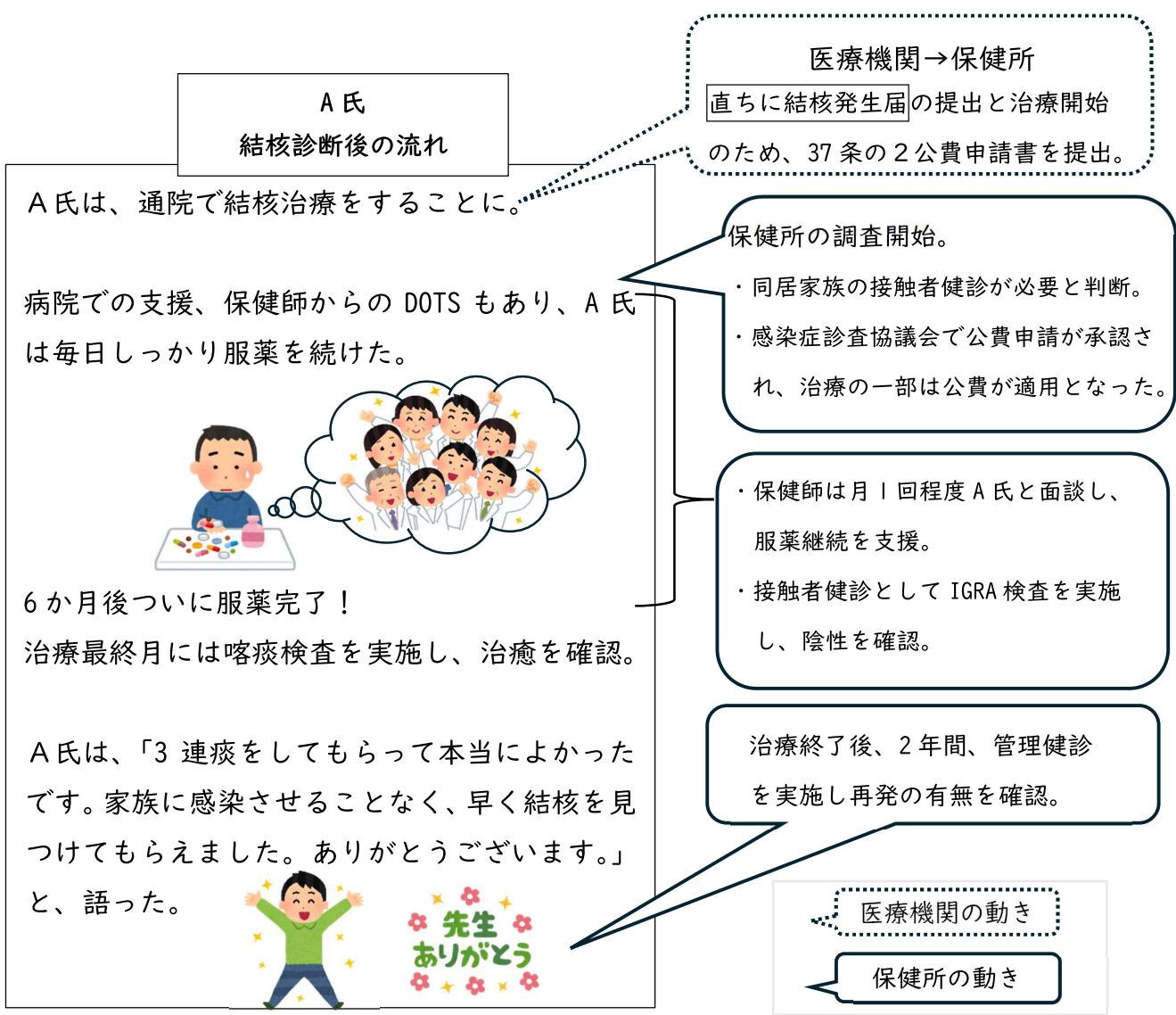
もしも、3連痰がオーダーされていなければ、喀痰培養が陽性にならず、
診断の遅れにつながっていたかもしれませんね…。



菌検査で陽性になるのはこの1回だけかもしれません。
薬剤感受性検査のオーダーも一緒にお願いします！

お願
い
ま
す

有症状時は、他疾患と併行して結核を疑い、積極的な胸部X線検査・
喀痰検査(塗抹・核酸増幅法・培養の3検査)をお願いします！



令和7年度結核研修会の開催決定！！

管内の結核罹患率は減少しつつありますが、依然として高齢者の結核は多いです。結核は過去の病気ではなく、今も注意が必要な感染症です。入院している患者が入院中に結核を発病していたという例も実際にありました。結核の早期発見、適切な診断・治療等に地域全体で取り組むためにも、皆さまのご参加をお待ちしております。

講師：結核研究所 対策支援部 企画・医学科長 平尾 晋先生

日時：令和8年2月19日（木）14:00～16:00（13:30受付開始）

場所：東りいだみホール6階中ホール（伊丹市宮ノ前1-1-3）



主催：伊丹健康福祉事務所 共催：伊丹市医師会・川西市医師会

※本研修会は、日医生涯教育認定講座を申請中で、

【CC:11(予防と保健) 1.0単位、CC:28(発熱) 0.5単位】計1.5単位が付与されます。

参加申込は別紙をご参照ください。